

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2006-194863(P2006-194863A)

【公開日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-029

【出願番号】特願2005-359753(P2005-359753)

【国際特許分類】

G 0 1 L 5/00 (2006.01)

G 0 1 D 5/245 (2006.01)

F 1 6 C 19/18 (2006.01)

F 1 6 C 33/58 (2006.01)

F 1 6 C 19/52 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 L 5/00 K

G 0 1 D 5/245 V

F 1 6 C 19/18

F 1 6 C 33/58

F 1 6 C 19/52

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 6 】

上記 1 対のセンサ A、B の出力を、それぞれ A 出力、B 出力とする。このうちの A 出力は、図 1 に示す様に、位相と周期とを検出する為の、D 型 F F (フリップフロップ) 9 の C L K (クロック) 端子に入力している。この D 型 F F 9 は、この C L K 端子に信号の立ち上がりが入力された場合に、次にこの C L K 端子に信号の立ち上がりが入力されるまでの間、D 入力の状態を出力し、保持する。但し、C L R 端子に入力される信号の状態が L o w である場合には、この出力を L o w とし、P R 端子に入力される信号が L o w である場合には、この出力を H i g h とし、次に C L K 端子に信号の立ち上がりが入力されるまで保持する。要するに上記 D 型 F F 9 は、上記 C L K 端子に信号の立ち上がりが入力されている間だけ、D 入力端子の状態を出力し、C L R 端子、P R 端子に入力される信号に基づいて L o w 或いは H i g h に出力が変更される以外の場合に、上記出力を保持する。一方、上記 B 出力は、リセットパルス部 1 0 の N O T 1 4 と N A N D 1 1 とを介して、上記 D 型 F F 9 の C L R 端子に入力している。